

2018年8月30日

社長記者会見を開催

8月29日、関西放送記者会（新聞社、通信社など18社で構成）を対象に、三村景一社長が記者会見を行ないました。会見の概要は以下の通りです。

■株式会社MBS イノベーションドライブの設立について

MBS メディアホールディングスの100%子会社として、9月3日設立。我々のグループが開局から67年で築いてきた知見をもとに、外部の技術を加えることで新しいビジネスをつくっていく会社です。これまでつくってきたコンテンツをこれまでの枠組みで送り続けるだけではなく、先端映像技術を取り入れることで違ったビジネスの形を模索していきます。

新しい会社にはグループの新規事業創造のハブとなる中間持株会社として、連結で5年後に30億円、10年後に100億円の売上目標を掲げ、新規事業の創出に取り組んでまいります。

■大阪大学・石黒浩教授の研究室との共同研究の件

大阪大学の石黒研究室とMBSで共同研究しようという計画があります。大阪ならではのロボットの実験・研究をしたいと考えています。ロボットにいかにかに人格を持たせるかということに取り組んで来られた石黒教授ですが「笑いが人間の進化を生んだ」とも仰っていて、テレビに出演したロボットがユーモアを持ち、人を笑わせることでどう進化するのかという実験を出来ればと考えています。現在、ミーティングを重ねているところですが、年内には具体的な内容についてお知らせできると思います。

■テレビの深夜帯を「人材・コンテンツ発掘枠」に

現在の深夜帯のテレビ番組には、月曜にエンターテインメントを紹介する「ENT」、水曜にダンサーやミュージシャンを発掘する「関西発！才能発掘TV マンモスター」、木曜にいわゆるeスポーツの注目選手を取りあげる「YUBIWAZA」があります。

10月からは火曜にも、アートやホビーの分野で才能を発揮しているタレントを発掘する「ダ・ヴィンチ・ミュージアム」(仮)という番組をスタートさせ、人材やコンテンツを発掘する「New Star Discovery Night」(仮)として展開していこうと考えています。

単なるバラエティ番組ではなく「まだ見ぬ、知られざる人材発掘」と「新しいコンテンツ開発」に取り組むということです。

どのチャンネルも似たような人たちが出演していて、似たようなことを放送しているじゃないかとの批判を受けることのないよう、MBSは人材を発掘して次世代のテレビを担う存在に育てようとしていると思っただけのような深夜帯にしていけたらと考えています。

以上